

平成18年度第5回公益事業振興補助事業審査・評価委員会 議事要旨

1. 日 時 平成19年3月13日（金） 午前10時～12時
2. 場 所 日本自転車振興会 7A会議室
3. 出席者 〈委員〉 小松隆二委員長、栃本一三郎、西貝宏伸、山岸秀雄
(敬称略)
〈本会〉 猪野理事、浅川部長、宮田課長、佐藤課長
4. 議 題 (1) 平成17年度公益事業振興補助事業の評価について
(2) その他

5. 議事要旨

(質疑応答の内容は以下のとおり (○は委員の発言 ●は本会側の発言))

(議題に対する質疑)

- 検診車については排ガス規制の対応により納期が遅れたため評価が低いものがあるが、これは一過性のものであり翌年度には発生していないのか。
- 翌年度以降、排ガス規制による納期の遅れはないが、検診車については特殊な医療機器を搭載するため納期に時間がかかる。

- 自己評価が低い場合は、次年度から厳しく査定を行う必要があるのでは。
- そのような場合は、ペナルティを課すというよりも、まずは事情をよく聴いて改善を促すことが重要と思われる。
- 現時点でも日自振の公益補助事業は、各法人において外部評価や専門部会による評価が行われているものが4割にも及んでいることは、もっと前面に打ち出して良い。
- 達成度評価と水準評価を分けて考え、水準評価を加えた評価方法を行っても良いのではないか。
- 今回の議論を踏まえ、事業評価制度の改善案を作成し、次回の委員会において提案したい。

以上